

研究課題名「幼児のつまみ動作を促す物体のサイズ・形状に関する検討」に関する情報公開

1. 研究の対象

本研究の対象は、4 歳から 6 歳(年中児・年長児)までの定型発達を示す男女です。

除外基準は、運動器疾患や発達障害、知的障害がある児、担当保育士から見て明らかに運動や知能の発達に遅れがあると判断できる児です。

2. 研究目的・方法・研究機関

研究目的：

幼児のつまみ動作を促す物体のサイズと形状を検討することです。

研究方法：

みよし市役所こども未来部保育課の協力を得て、保育課の管轄下にあるみよし市立の 6 つの保育園にて実施します。実施に先立ち、保育課長から研究承諾書にて承認を受け実施します。みよし市立の保育園を通じて利用児家族に依頼書・説明書・同意書を配布し、同意を得られた家族の児を対象として情報を収集します。同意書の回収は保育園が行い、データ取得は研究責任者と分担者が保育士立ち合いの元行います。

新規情報は、保護者に向けたアンケート、各対象児が通う保育園内の個室で課題等を実施し入手します。

研究期間：

実施承認日 ～ (西暦) 2026 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

基本情報(年齢・性別)、対象児の利き手、対象児の手の長さ/手の幅、随意運動発達検査の手指項目、所定の物体の持ち方

随意運動発達検査の手指項目は、基礎情報として対象児の運動遂行レベルを確認するために行い、結果から何らかの診断や発達の異常に結びつけるわけではありません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科 総合保健学専攻

講師・五十嵐 剛

愛知県名古屋市東区大幸南 1-1-20

052-719-1374(TEL/FAX)

igarashi.go.z6@f.mail.nagoya-u.ac.jp

苦情の受付先：

名古屋大学医学部保健学科総務係：(052-719-1504)